

神戸まち研便り

5号

2021年8月

オンラインでのライブ配信＋アーカイブ視聴で「まち研」の活動を知る 「まち研便りonline」スタート

「まち研の活動をもっと会員や世の中に広く知ってもらって、参加の機会を増やして欲しい」という強い声に背中を押され、21年5月の会員総会で会報担当を引き受けました。まち研の活動が多様に広がる一方で、それぞれの事業で何をしているのかは当人同士でも実はあまりよくわかっていなかったりしますし、会員へのタイムリーな情報共有もまた長年放置してきた課題でした。そこで、コロナ禍で一気に普及したオンラインでのライブ配信による会員参加型の情報共有と意見交換の場として、「まち研便り online」をスタートさせることを総会の場で提案し、隔月でテーマを決めてやってみよう、ということになりました。

第1回は「まちラボ」をテーマに6月25日に開催しました。「まちラボ」は、神戸まちづくり会館4階にある「まちに関わる活動を支援する拠点施設」の愛称で、2019年からまち研が神戸市より運営を受託しています。当日はまずはじめに、まちラボの運営を担当する山岸千夏・コガワケンタ・いまじはるのの3名から、まちラボがこれまでやってきたことやこれからやりたいことについて、まちラボの内の談話スペースからライブで説明しました。続いてまちラボやまちづくり会館のヘビーユーザーである辻信一さんから、スペースの特徴や活用方法についての「ぶっちゃけ話」を語って頂き、残りの時間は参加者での意見交換やアイデア出しであつという間に時間が過ぎました。

活字にするときわどい話しも少なからずあり、すべてをここに書き出すことはできませんが、次頁以降に当日共有した資料も交えながら概要をまとめました。ぜひご笑覧のうえ、「それならこんなこともできる」の立候補をお待ちしています！

(担当: 田村太郎)

◆まち研便りonline 第1回の様子は下記から視聴できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=JnOKIUXWtTQ>

◆次回 まち研便り online 第2回は「居住支援」をテーマに、9月17日(金) 19:00～20:30 ZOOMで開催します。まち研会員の方はライブでの参加が可能です。



<p>初年度 R1.10～R2.3</p>	<p>事業の柱を3つに掲げて実施 1.施設運営 認知度を上げ、活動拠点を育てていく 2.活動体験 地域活動を体験できるプログラムの実施 3.サロン運営 毎週火曜日夜間に「まちサロン」実施</p>	<p>認知度向上を目指したイベントを半年のうちに26件実施 現場体験プログラムは活動と人のマッチングに苦戦</p>
<p>令和2年度 R2.6～</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業内容見直し 1.施設運営 図書、資料、情報を充実させる 2.団体へのアンケート実施。無理なプログラム自粛。 3.オンラインを併用し関わる人を増やす</p>	<p>R2.3～5月の3か月間は臨時休館となったため、図書を抜本的に見直し、オンライン活用のスキルを磨いた</p>
<p>令和3年度 ～R3.6</p>	<p>活動拠点の場の力を高めることに注力 1.情報、人、活動のハブを目指して空間整備 2.「つながり」の前の「活動」をみんなで考える 3.発信すること、考えを体现すること</p>	<p>これまでの積み上げから ・場所づくり ・図書の充実（最大の武器） ・情報発信と相互交流 の3点に重点を置いて運営</p>

1. まちラボのこれまで

まちラボでは「施設運営」「活動体験」「サロン運営」の3つを事業の柱に掲げ、スタッフそれぞれの特技を生かして運営にあたっています。2年度目にあたる昨年度はコロナの感染拡大で思うように事業が進められませんでした。オンラインの活用で新たな関わりを模索し、また臨時休館となった期間を利用して図書の内容や展示方法を見直しました。

3年度目にあたる今年度は拠点としての場の力を高めることをめざし、「場所づくり」「図書の充実」「情報発信と相互交流」の3点を重点に置いて運営しています。(上図参照)

場所づくり

まちづくりに関する豊富な図書を見やすく、わかりやすく配架し直したり、感染対策のためのパーティションなどをスタッフや学生がDIYで整えています。写真左上は4階の図書スペース、左下は受付カウンターの整備前とあとの写真です。写真右上は手作りのパーティション、右下は1階入口の看板を手作りする様子と完成した看板です。

BEFORE → AFTER



図書の充実

新着図書やテーマに沿った図書を選んで展示しています。また従来の図書に加え、各地のタウン誌やフリーペーパーも取り寄せています。今後はまち研のメンバーが選んだ「イチオシの10冊」等も企画したいと考えています。



新着図書コーナーの様子



まちづくりやタウン誌の配架

情報の発信と相互交流

自主企画としていくつかの研究会も開催しています。写真は「全国駅名研究会神戸支部」の様子です。また動画やラジオ番組を収録できるスペースも設けており、スタッフが作成した動画はYouTubeで配信しています。



駅名研究会の様子



ラジオ収録の様子(YouTubeでも視聴可能)

2. まちラボを使おう！

まちラボスタッフからの説明の後、まちづくり会館の活動に長年いろんな立場で関わってこられた辻さんから、まちラボを使う上でのヒントについて経験を交えて語っていただきました。

辻さんは「図書もスペースもとても有効。まち研がこの運営に関わるのはとても良いことだから、もっとみんなで使ったらいい。ラボの企画なら利用料の減免もあるし、あったら良いと思う本を推薦してはどうか」と具体的な提案がありました。

スタッフからは、「火気厳禁」とか使用上の注意はあるが、基本的には何でもできる「リビング」みたいなものなので、いろんな企画を持ち込んでほしい、ただスタッフがそれを受けてやるということではなく、企画を持ち込んだ人が自立してやっていただきたいとの回答がありました。



地図をテーマにした研究会の様子



辻さん(右)の話を聴くまちラボスタッフの3人(左)

まちラボ 的には	未来志向 【挑戦・実験】	今・現在 【知る・分かち合う・選ぶ】	経験・英知 【残す・伝える・考える】
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・時勢に応じる ・自由な発想を実行する ・柔軟な考え方や手法 	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある問題意識の共有 ・違いを知る・分かち合う ・主体的に行動を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験は財産として残す ・固定観念の押し付け禁止 ・価値・判断は主体に委ねる
担当	まちラボ		まち研理事・会員
担当者	いまじ・コガワ	山岸（図書関係はコガワ）	適任な方
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオなどの発信 ・まちに興味を持つイベント ・まちづくり会館全体連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市政を知るセミナー ・まち研便りon-line ・その他セミナー・サロン 	<ul style="list-style-type: none"> ☆まち研レガシー列伝 ☆蔵書管理システムの電子化
整備 運用	<ul style="list-style-type: none"> ・配信機材ブースの貸出 ・会館1階スペースの整備 ・「まちづくり」にとらわれすぎない 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちラボの空間整備 ・イベントなど来館するきっかけをつくる ・オンラインで関わりづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち研「年の差」対談動画 ・図書を介して交流 ・神戸市の図書検索システムと連携したい

3. まちラボのこれから

これからのまちラボの方向性について、「未来志向」「今・現在」「経験・英知」の3つの分野から基本方針や実施したい事業、整備・運用の方向性がまちラボスタッフから上図のように整理して説明があり、オンラインの場では後半は自由に意見交換が行われました。

学生が論文を書くときや神戸以外の方が神戸のことを知りたいときにまちラボを訪れ、図書だけでなくまち研メンバーが持つ知見やネットワークとつながることができるような取り組みができないか、まちづくりというと現場でしか学べないイメージがあるが、まちラボに行ったらいろいろ教えてくれる人がいたり、オススメの図書を選んでくれるというサービスもあるといいのでは、といった意見も出ました。

まちラボ現場スタッフより

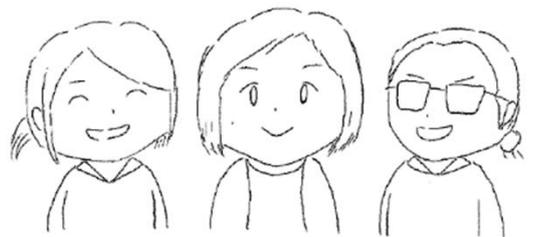
まちに関わる、まちを楽しむ、まちで活動する拠点として「まちラボだからできる事」を考えながら挑戦しているところです。

新型コロナウイルス感染拡大で、色々な活動が制限されている中ですが、実は「これからの活動の在り方」を考えるチャンスなんじゃないかな？とも感じています。

特に今年度は新しいスタッフを迎え、これからのまちに関わる活動は、これまでのいわゆる「まちづくり」に捉われない新しい考え方、やり方が大事だと思い、それを柔軟に取り入れていける体制を整えつつあります。

その一方で、これまでのまちづくりを支えてこられた方たちの経験や知識の蓄積も、この場所にとって大切にしたいいけないことだとも考えています。今のまちづくりを支える人たちに伝え、広げること、これからのまちを動かしていく人たちにとって財産になるように「まちラボ」という場所を育てていきたいと思えます。

というわけで、まち研会員の皆様には、経験、知識の蓄積にご協力いただきたいと思います。まちラボの図書からおすすめ10選、まちラボスタッフとの年の差トークなど、ご協力いただく方にも楽しんでいただけるような内容でやっていきたいと思えますので、ぜひよろしくお願ひします。



まちラボをご利用の方に頂いたスタッフの似顔絵

発行：特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所

〒658-0013 神戸市東灘区深江北町4丁目8番19-202号 TEL：078-855-8520 FAX：078-436-2121

E-mail = LET07723@nifty.ne.jp Homepage = <http://www.kobe-machiken.org/>